

【8月の気象】

▷ 8月は太平洋高気圧に広く覆われて晴天の暑い日が続きます。特に上旬は年間で最も気温が高くなる時期です。農作物の管理や熱中症に十分注意してください。気象台では、当日または翌日の最高気温が35℃以上になることが予想される場合は「高温注意情報」を発表し、熱中症への注意を呼びかけます（当日分は松山地方気象台が発表し、翌日分は高松地方気象台が四国地方を対象に発表）。

高温注意情報の発表状況はこちらで確認できます → <https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/kouon/>

▷ 強い日射によって地面付近の空気が暖められて上昇気流が強まると、積乱雲（入道雲、雷雲）が発生・発達し、局地的に急な強い雨や落雷、竜巻などの激しい突風をもたらすことがあります。落雷や竜巻などの激しい突風が予想される時は、気象台では雷注意報や竜巻注意情報を発表して注意を呼びかけます。気象情報で「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」といった言葉が使われていたら天気の変化に注意してください。雷の音が聞こえたり、黒い雲が近づいたり、急に冷たい風が吹いてきたときは、発達した積乱雲が迫っているサインです。屋外にいる場合は、頑丈な建物など安全な場所へ速やかに避難してください。中小河川や水路では、急な強い雨による増水にも注意が必要です。

降水や積乱雲の動向(雷・竜巻発生確度)はこちらで確認できます → <https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

竜巻注意情報の発表状況はこちらで確認できます → <https://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/>

▷ 8月は年間で最も多く台風が発生し、日本へ接近する時期です。平年値（1981～2010年）によると、8月は、台風の発生数が5.9個、日本への接近数が3.4個、四国への接近数が1.0個です。台風になる前の熱帯低気圧の発生情報や台風情報を積極的に入手し、早めの台風対策にお役立てください。

熱帯低気圧の発生情報や台風情報はこちらから入手してください → <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

台風に関する詳細はこちらをご覧ください → <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/typhoon/index.html>

【気象用語】「危険度を色分けした時系列」と「早期注意情報（警報級の可能性）」

気象庁ホームページにおいて、[気象警報・注意報](#)のページの[発表状況地図](#)または[発表状況一覧](#)から、お住まいの市町を選択すると、警報や注意報が発表されている場合、「[危険度を色分けした時系列](#)」の表が表示されます。これは、警報級、注意報級の現象が予想される時間帯をそれぞれ赤、黄色でわかりやすく表示するもので、雨量、風向・風速、波の高さなど各現象の予想値も3時間ごとに細かく示します。

また、その下には「[早期注意情報（警報級の可能性）](#)」の表があります。これは警報級の現象が5日先までに予想されているとき、その可能性について[高]、[中]の2段階の確度を付けて発表するものです。

特に台風接近の際は、台風情報等と併せて事前の台風対策にお役立てください。

「危険度を色分けした時系列」の例

〇〇市	発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・関連する現象		
		30日					31日							
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6				
大雨	1時間最大雨量(ミリ)	16	30	40	50	80	80							
	(浸水害)													浸水注意
	(土砂災害)													土砂災害警戒
洪水	(洪水害)													
暴風	風向風速(矢印メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	18	10	10			
		海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10			以後も注意報級
波浪	波高(メートル)	6	6	8	8	10	10	10	6	6			以後も注意報級 うねり	



「早期注意情報（警報級の可能性）」の例

愛媛県〇予	種別	警報級の可能性								
		31日		1日						
		夕方まで 12-18	夜～明け方 18-6	朝～夜遅く 6-24						
大雨		-			-	-	-	[中]	-	
暴風								[中]	[高]	-
波浪								[中]	[高]	-